第9回

BKCバイオインフォマティクス研究会

2017年2月1日 10:30-17:05

立命館大学BKC コーニングⅡ 4階 CⅡ 講義室

プログラム

10:30 - 10:35 開会挨拶

10:35 - 11:25

「ビッグデータ・スパコンが拓く医療・創薬の未来」

奥野 恭史：京都大学 大学院医学研究科 教授

11:25 - 12:15

「多剤排出トランスポーターAcrBの分子動力学シミュレーション」

山根 努：横浜市立大学大学院生命医科学研究科 博士研究員

13:30 - 14:20

「バイオイメージ・インフォマティクスが可能にするデータ駆動バイオロジー」

大浪 修一：理化学研究所生命システム研究センター チームリーダー

14:20 - 15:10

「エピジェネティクス：見えてきた細胞分化の分子機構」

西川 建：国立遺伝学研究所 名誉教授

15:30 - 16:00

「膵β細胞における膜興奮性および細胞内 $[Ca^{2+}]_i$ 制御機構の理論解析」

竹田 有加里：立命館大学生命情報学科 特任助教

16:00 - 16:30

「光合成反応中心複合体に潜む構造機能相関の実験的探索」

浅井 智広：立命館大学生命情報学科 助教

16:30 - 17:00

「創薬を見据えた3D-RISM理論の応用研究」

杉田 昌岳：立命館大学生命情報学科 助教

17:00 - 17:05 閉会挨拶

【参加費】無料（登録不要）

【お問い合わせ】立命館大学 生命情報学科 学科長 伊藤将弘

Email: maito[at]sk.ritsumeai.ac.jp

【主催】立命館大学生命情報学科

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「稀少疾患・難治性疾患の原因究明と治療法の開発に向けた基盤研究」